



“としまる”が西洲卸商業団地を巡ります

図書館から遠い所に住んでいる方や、時間帯が合わずに来館が困難な方のために運行している「移動図書館“としまる”」が4月から西洲卸商業団地への巡回を始めました。巡回初日の4月22日には、卸団地内で働く人たちがお昼休みを利用して訪れ、車内外いっぱい並べられた本を手を選定していました。利用者からは「職場に来てくれて、ゆっくり探せるので助かる。」「仕事でなかなか図書館に足を運ぶ機会がなかった。またぜひ利用したい。」と好評でした。貸出場所は組合会館、貸出時間は午後0時15分から午後1時まで、月1回、次回は6月17日に巡回します。



5/16 (土) 日本画の奥深さを体験♪

絵の具作りから作品完成までを体験する「日本画体験教室」（講師：佐藤文彦氏）が浦添市美術館で行われました。この体験教室は、同館で開催されたイベント「王国時代の琉球 収蔵品展」の一環として行われたもので、水干絵具という特殊な絵の具を使い、和紙にプリントされた絵に色を塗っていく作業を行いました。日本画を初めて体験した参加者は、「（プリントされた）同じ絵なのに、色の付け具合でぜんぜん違う絵に見える」「絵の具の濃淡でいろいろ表現できるところがおもしろい」と体験教室を楽しんでいました。



4/23 (木) 市立図書館が文部科学大臣表彰！

東京都で開催された「子どもの読書活動推進フォーラム」において、市立図書館が文部科学大臣表彰（子どもの読書活動優秀実践図書館表彰）を受けました。開館以来から続くおはなし会や、県内初のYA（ヤングアダルト）コーナーの設置など子ども向けの行事や図書の所蔵を積極的に行っていることに加え、国内初のアメリカ情報コーナーの設置や、米国総領事館の協力で領事が英語の絵本の読み聞かせを月に1回実施するなど、子どもの読書活動の推進に対する取組みが高く評価され、今回の表彰となりました。



5/15 (金) いつまでも学ぶ気持ち大切に

22回目となる「てだこ学園大学院」の入学式が開催されました。今年は学習意欲あふれる48名が入学し、仲間づくりの輪を広げながら新しい教養を身につけていく充実した学園生活をスタートさせました。2年次を代表して照屋正元さんが「心の財産である仲間と共に充実した学園生活を送りましょう。」と歓迎の言葉を述べたのに対し、新入生代表の砂川昌逸さんは、「本日から皆同じスタートラインに立ち、学習意欲に燃え、学園生活をとおして新しい友情、健康保持に努力して全員で皆勤賞を目指します。」と抱負を述べました。



4/23 (木) 鯉が滝を登るように元気な子どもたちに！

児童福祉週の一環として、こいのぼり掲揚式が開催されました。当日は、あいにくの雨のため市役所1階ロビーでの掲揚式となりましたが、子ども達の元気よく歌う「こいのぼり」に合わせて、かわいらしいこいのぼりが揚がりました。掲揚の後、児童センター厚生員によるアトラクションが披露され、歓声や歌声が会場に響きました。また、児童福祉週間の期間中は、市役所市民ロビーにおいて「健やかな成長パネル展」も開催され、子ども達の健やかな成長の様子を紹介しました。



5/11 (月) 強豪の高校生たちを破り全日本制覇！

4月に開催されたJOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアレスリング選手権大会において、仲西中学校3年生の与那覇竜太さんが男子カデットの部グレコローマンスタイル85キロ級で優勝しました。この階級での対戦相手はすべて高校生であったにもかかわらず、与那覇さんは並み居る強豪たちを倒しての快挙となりました。優勝した時の感想について「素直にうれしかった。」と語り、7月のアジア大会については「出場するからには、日本の代表として優勝を目指します。」と力強い意気込みを述べました。



4/24 (金) 市民憲章実践の功績を称えて

第27回浦添市民憲章推進協議会において市民憲章実践者の表彰が行われました。この表彰は、市民憲章の積極的な実践活動を称えらるとともに、継続的に実践していくことのできる団体・個人の育成を目的として、毎年行われているものです。今回は、個人35人と6団体が表彰されました。表彰された個人・団体を代表して伊智修さんは、「市民憲章は20年以上にわたり、まちづくりに貢献している。今後ともできる限り憲章の推進に力を注いでいきたい。」とまちづくりに対する熱意を語りました。